教育事務所だより
南北300kmの教育

鹿児島教育事務所
第４号
平成31年３月15日発行

平成31年度全国学力・学習状況調査に向けた取組の充実
～平成30年度鹿児島学習定着度調査（学力調査）結果に見られる課題克服に向けて～

平成31年１月に県内の小学校５年生，中学校１・２年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」が行われました。

右の表は，当教育事務所管内の小・中学校の結果を各教科ごとに「基礎・基本」，「思考・判断」と「全体」の３つに分けて平均通過率を示したもので，全般的には良好な状態と言えます。

しかし，問題別通過率等で分析してみると，依然として「まとまりのある文章から内容の要旨等をつかみ，自分の考えをまとめること」や「複数の資料を関連付けながら，自分の考えをまとめたりする」こと等に課題が見られます。

来年度４月に入るとすぐに全国学力学習状況調査が行われます。今回は，周知のとおりＡ・Ｂ問題が統合され，中学校において英語の調査が実施されます。残り１か月の間に，児童生徒一人一人のつまずきを分析し，確実な個別指導を行うことで，児童生徒がもつ力を最大限に発揮させ，各学校の教育課題解決を一層推進していって欲しいと思います。

〔○：県平均を上回っている，▼：県平均を下回っている。〕

教科	問題別	小学５年			中学１年			中学２年		
		県	地区	比	県	地区	比	県	地区	比
国語	基礎・基本	64.8	65.0	○	63.2	65.1	○	71.0	72.3	○
	思考・表現	47.5	49.0	○	58.5	61.0	○	58.4	59.1	○
	全　体	60.1	60.6	○	61.9	63.9	○	67.6	68.7	○
社会	基礎・基本	79.8	78.7	▼	68.8	68.5	▼	54.9	57.0	○
	思考・表現	58.1	59.5	○	46.5	46.8	○	42.6	43.8	○
	全　体	72.9	72.6	▼	62.2	62.1	▼	51.2	53.1	○
算数数学	基礎・基本	78.0	79.7	○	68.0	70.5	○	65.1	67.9	○
	思考・表現	62.3	62.9	○	39.0	42.5	○	54.1	56.0	○
	全　体	72.8	74.1	○	59.7	62.5	○	60.8	63.2	○
理科	基礎・基本	59.7	62.7	○	62.2	61.2	▼	55.9	57.5	○
	思考・表現	47.8	49.7	○	53.9	55.6	○	39.0	39.4	○
	全　体	54.6	57.1	○	59.2	59.2	－	50.3	51.5	○
英語	基礎・基本				76.5	77.9	○	58.3	62.2	○
	思考・表現				67.9	70.6	○	41.4	44.2	○
	全　体				73.3	75.2	○	51.7	55.2	○

日置・鹿児島郡地区教育論文・教育実践記録集「波動」

今年度も，地区内の小・中学校の先生方から，教育論文・教育実践記録が多数寄せられました。学校経営，学年・学級経営，教科・領域等，児童生徒の実態に基づき，課題を明確にしながら，計画的・継続的に日々の実践に取り組んでいる内容が多くみられました。

なかでも，「波動」に掲載されている９点の実践事例は，学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえた今後の教育実践に多くの示唆を与えてくれるものです。また，６校の研究協力校研究実践資料も掲載されています。掲載された内容や方法を積極的に活用して，各学校における指導体制の充実や指導方法の改善に努めていただきたいと思います。

「体力アップ！チャレンジかごしま」　～仲間と楽しく運動しよう～

本県では，運動習慣の育成や体力向上を図るために，「体力アップ！チャレンジかごしま」を推進しています。仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組むことで，人間関係や社会性も育まれます。これからも，積極的にチャレンジしましょう。

【学校賞】　**十島村立悪石島小学校**　（３年連続学校賞受賞）

【年間ランキング１～３位に輝いた学年・学級】

１位：**悪石島小３年**（２人でさっさっ），**生福小５年**（10人でチャレンジ），**川上小５年**（レッツ短縄跳び）
　　悪石島小５年（馬跳びピョンピョンピョン，２人でさっさっ）

２位：**悪石島小３年**（馬跳びピョンピョンピョン），**悪石島小６年**（レッツ短縄跳び）

３位：**宝島小１年**（長縄エイトマン），**花田小２年**（馬跳びピョンピョンピョン）
　　悪石島小６年（馬跳びピョンピョンピョン）

～本地区内のランキングも鹿児島教育事務所ホームページに掲載中です！～

第66回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

２月16日（土）から20日（水）の５日間にわたって，「第66回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。

日置チームは，総合４位，10の区間賞（区間新３）を獲得，前回大会比16分49秒短縮という好成績を収めました。

選手は年間を通して積み上げた練習の成果を発揮し，日置の熱い想いをのせて積極的なレースを展開しました。

第32回県地区対抗女子駅伝競走大会

１月27日（日），早春の霧島路を駆け抜ける「第32回鹿児島県地区対抗女子駅伝競争大会」が開催されました。

今年は全体的にレベルアップして，目標とする３位入賞が大いに期待されました。結果は目標には届かず６位でしたが，けがや体調不良がありながら，チーム一丸となって粘り強く襷をつなぐ姿に，たくさんの感動をもらいました。

写真提供【日置地区体育協会事務局】

涼風

今日までの教職生活を振り返って

教育事務所　指導主事　吉里博之

鹿児島県の教師として採用され、早二十二年が経ってしまった。現在、学校現場から離れてはいるが、一番喜びを感じるのは学校訪問の際、子どもが楽しそうに授業を受けている姿であり、私の心を刺激する。

初任者だった頃、教材研究に励み、授業に臨んでも、子どもに力を付けてあげられているかと忸怩たるものがあった。中堅の頃になると少しだけ子どものつまずきが見えるようになり、手立てを講じることができるようになってきた。子どもから「ああ、そういうことか」、「先生。分かったよ」と笑顔で返されることが一番の喜びであった。

私は、教師という仕事は、「教える」ことのプロフェッショナルでなければならないと思う。子どもとは格段に違う知識量を持ち、それを上手に教える技術を持っている。そして、子どもに「知る喜び」を毎時間のように与えることができる。それがプロの教師である。勿論、最初からそれができるわけでもないし、毎回の授業でできるとは思わない。しかし，少なくとも教師であるならば，それを目指すための最大限の努力は続けなければならないと思う。

私は，そんな教師でありたいと考えている。